

編集・発行
天台宗 東圓寺
電話：84-4114
Fax：84-4104
http://toudenji.jp/

令和2年 お盆号

東圓寺だより

～不二の祈り 4月19日(日)～



昨年までは10月3日に行われておりました「不二の祈り」ですが、今年から諸事情により、4月の第3日曜日に開催させていただくことになりました。

沢山の方にお参りしていただきたかったのですが、今年に入ってから新型コロナウイルス感染症という未知なるウイルスが世界中に拡大し、5月末現在では500万人以上もの感染者が確認され、世界中が脅威にさらされてしまいました。日本でも4月に入り、全国に非常事態宣言が出されました。東圓寺としましては、どのように「不二の祈り」を開催するのか、何度か議論を重ねた結果、ご参拝は自粛していただき、本堂内は入室禁止、寺院関係者のみで行う事とさせていただきます。また、関係者も三密を避ける為に外で1人1人間隔を空けて座っていただくようお願いしました。

これまでは東圓寺が皆様にとって、日常にはない空間、祈りの場で在る事が何よりだと思っていました。ところが、それが許されないという非常な事態がおこり、寺院として今できることは何かを考えさせられました。そのような中でも、皆様からは郵送や FAX でたくさんの願意をいただきました。皆様の思いを受け、関係者一同、精一杯祈りを捧げました。新型コロナウイルス感染の収束をはじめ、様々な願いをお不動様は受け取ってくださったことと思います。世界中の人々が一日も早く、日常生活を取り戻すことができますよう、これからも祈り続けます。

新型コロナウイルスの猛威により、日本をはじめ世界が大きく変わろうとしております。私たちの生活習慣も社会の構造も大きな変化を余儀なくされています。昨年は賑わっていた忍野村も観光客が少なくなりました。これを機に、改めてこれからの忍野村の未来や観光振興に對して、村民の英知を結集して見直し、活気と魅力にあふれた村作りをしましょう。美しい自然と先祖伝来の意義ある文化・伝統を、いい形で子孫に残したいものです。今年も全国で豪雨による痛ましい大災害が起きています。幸い忍野村では被害もなく無事に過ごせることを、ご先祖に感謝申し上げます。まもなくお盆になります。ご先祖様との再会を心温まる和みのひとときとして過ごしましょう。

合掌

仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通 121086 東圓寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので必ず戸主がわかるようにして下さい。

子育地蔵尊大祭 5月16日(土)



昨年、地蔵祭へ多くの方にご参拝いただきたいとの思いから4月24日の地蔵尊縁日開催を第3土曜日に変更いたしました。しかし、諸事情により「不二の祈り」が4月へ移動した為、今年は5月16日土曜日に行くことになりました。

新型コロナウイルス感染症での非常事態宣言を受け、地蔵祭は無参列開催、寺族のみで行うこととなりました。また、昨年までは護摩祈禱をしておりましたが、今年からは地蔵供という祈禱をさせていただきました。例年、地蔵尊祭は参拝される方々で境内が賑わっていましたが、今年は無参列開催ということで寂しいような気もしましたが、お地蔵様が見守られている本堂内での法要はとても厳かでした。法要後は皆様からいただいた願意を書いた前掛けをお地蔵様へ奉納させていただきました。

時代背景を鑑み、来年からは縁日に開催したほうがお地蔵様のご利益を得られるのではと、7月24日の地蔵盆に開催することいたします。その日は参拝される皆様が1日を通して特別な時間を過ごすことができますよう、話し合いを重ねて参ります。

絵馬

今回は皆様もご存じの「絵馬」についてお話をさせていただきます。お寺や神社には四角い板に願い事を書いて奉納する「絵馬」というものがあります。絵馬の歴史は古く、時代を経て様々な形で変化していきました。大昔には天皇が亡くなられたときなどに馬を献上し、一緒に葬るという習わしがありました。その後時代が経ていくにつれ、生きた馬から埴輪（はにわ）の馬に変わっていきました。馬や埴輪にはあの世で必要であろうという配慮と、神仏に祈願をしてご利益にあやかるために献上するという意味合いがありました。そして埴輪から絵を画いた板に変わり現在ある絵馬へと変化していきました。最近ではそれぞれのお寺や神社によって様々な形の絵馬があり、お参りの楽しみの一つにもなっているようです。皆様も是非お参りの際には絵馬に馬を思い浮かべながら願い事を書いてみてはいかがでしょうか。

慈法 記

◆東円寺先祖供養団参について◆

6月に予定しておりました先祖供養団参ですが、コロナウィルス感染予防から延期しておりましたが、第2派、第3派発生の可能性を考慮し、今年中止させていただくことになりました。今は、ただ新型コロナウイルス収束のために、一人一人が感染予防に努めることが最善策であると考えております。檀信徒の皆様と比叡山に上がることができないことは誠に残念ですが、来年を楽しみにこの困難を乗り越えましょう。来年も6月に予定しております。

☆ご詠歌に参加しませんか☆

3月～12月

第2・第4月曜日

午後2時～3時

※行事によって変更有り。

◆不滅の法灯全国行脚について◆

「不滅の法灯全国行脚」実施のため、去る4月2日比叡山の根本中堂にあります不滅の法灯が4つに分灯されました。全国を4地区に分けて、寺から寺へ引き継ぎながら各所で宗祖伝教大師への報恩感謝を示していく予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言、また緊急事態宣言が解除されたとは言いましても第2波、第3波発生の可能性があり、現段階での開始は困難であると判断されました。従いまして、予定されていた日程を一旦見直し、状況の推移を見ながら来春からの開始を目途に日程を予定しております。詳しい日程が決まりましたら、ホームページ、東円寺だより等でお知らせいたします。

～網の目～

人はひとりでは生きられないという。私たちは血縁、地縁、社縁などさまざまな縁に支えられ縁の影響を受けて一日一日を生きている。現代のようにグローバルな社会になると自分自身が被る縁は幾重にも重なり合い、つながり合ってくる。「網の目が互いにつながりあって網を作っているように、すべてのものはつながりあってできている。一つの網の目がそれだけで網の目であると考えれば大きな誤りである。網は他の目とかかわりあって一つの網の目といわれる」というように、人は時間的空間的に多くの縁とのかかわりの中で存在しているのである。だから、誰の世話にもならないとか、誰にも迷惑をかけないというわけにはいかない。現在、世界中の国が新型コロナウイルスの感染拡大防止のために懸命な努力を続けている。一月に中国での流行を耳にした時には、他人事のように思っていたが、間もなく町の店からマスクが消えたという噂が聞こえてきた。中国で新型肺炎が流行しているからといって岩手でマスクがなくなるはずがないなどとぼんやりと考えているうちに、本当にマスクは消え失せてしまった。あわてて家中をひっかきまわして買い置きをマスクをかき集めたら、その箱にはメイドインチャイナと書いてあった。わたしがマスクを探している間に、世間では中国からの自動車部品の供給網（サプライチェーン）が断たれたために日本の自動車メーカーが打撃を受けていると大騒ぎになっていた。正に、網の目は互いにつながり合っているのである。東日本大震災のときも同じような経験をした。ガソリンがなくなって初めて、世界中のとてつもなく多くの人々の働きの上に自分の便利な生活が成り立っていることを思い知ったのである。

天台ブックレット NO、97 『ご縁の話』より抜粋

～寺庭のつばやき～

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。コロナウイルス感染の脅威と、集中豪雨による災害の不安、度重なる様々な試練に私たちはどのようにして心の均衡を保たなければいけないのでしょうか。忍野村の住人にしていただいてから二十数年の歳月が過ぎました。当時、東円寺の役員をしてくださった方の多くは、他界されてしまいました。けれども、その方々に様々なことを教えていただき、その教えは私の心に刻まれております。特に印象に残っていることは、その方のおじい様がしてくださったというお話です。役員さんは当時83歳くらいだったでしょうか。その方のおじい様が生きていらした時代は、日露戦争のころだと思えます。生活が困窮する中で何か打開策を見つけるには、村を見渡せる山の上に登って考えるように言われたそうです。そうすることによって、より広い視野で物事を見ると何が必要か見えてくると。人は無意識に困窮しますと目の前にある問題だけに囚われてしまいます。けれども、一歩下がるという意識を持つことによって視野が広がり、問題点や打開策が見えてくるようです。問題を解決する方法は、昔も今も変わらないようです。便利な時代になり、便利さに慣れてしまい、先人たちの知恵を置き忘れてしまっているように感じます。生活様式が変わっても、人の心は変わることはないと思います。このような時だからこそ、昔伝え聞いた言葉を思い出して、コロナウイルスによって変わろうとしている社会に適應するためのヒントを先人たちの知恵から学ぶべきかもしれません。

観音堂の建設が始まりました

東円寺には鎌倉時代の文保元年（1317年）に造られた聖観音像があります。忍野村の重要文化財に指定されています。作者は忍草浅間神社の国指定重要文化財の三神像を造った仏師です。像底には「丹後国仏師運慶法印曾孫岩見静存」と、墨書されています。江戸時代迄は、忍草浅間神社の境内のお堂（庁屋）に祀られていましたが、明治の廃仏毀釈の時に東円寺に移されました。以来150余年間お堂がありませんでした。2017年が造像700年に当たるため、それにあわせて、観音堂の再建を発願し、今年は12年になりました。十年以上の歳月をかけて多くの方々から浄財を寄進していただき、この度観音堂の建設が始まりました。忍野八海・八大竜王に因んで、八角堂となります。今から役員一同完成を楽しみにしております。浄財の寄進は観音堂の完成まで受け付けています。ご助力をお願い申し上げます。

～観音堂再建基金浄財寄進者～

◆令和2年 6月吉日

◆令和2年 3月吉日			天野一仁殿	金30万円
	天野克行殿	金 5万円	大森光秀殿	金10万円
◆令和2年 4月吉日			長泉町 仁藤奈津子殿	金 5万円
	鷹野貴雄殿	金10万円	沼津市 山本芙美子殿	金 1万円
	天野二郎殿	金 3万円	国分寺市 大森伊岡殿	金 2万円
	東円寺役員一同殿	金22万円	◆令和2年 7月吉日	
御殿場市 鷹野広康殿	金 5万円		大森和仁殿	金10万円
			沼津市 山本吉明殿	金 1万円

令和2年7月現在の再建基金 25,465,703円

～東円寺下半期行事予定～

8月 7日	新盆施餓鬼会	午前11時より
8月13日～16日	お盆	
8月16日	仏参金受付	午前9時～午後5時
8月16日	新盆精霊流し	午後1時より
9月19日～20日	諏訪明神大祭	
9月23日	秋彼岸中日	
9月23日	仏参金受付	午前9時～午後5時
11月 3日	お会式	午前11時より
12月31日	除夜の鐘	午後11時半より

※コロナウィルス感染拡大状況により変更される場合があります。

新盆一覧は別紙になっております。必要な方は墓参時などにお声がけください



「かわら版」をご覧ください
行事の様子や会計報告などをさせていただきます。本堂や客殿、本堂脇の掲示板などに掲示しています。